第 ３ 分科会　要項（案）

**記 録 用 紙**

テーマ「　ＩＣＴを活用した授業作りについての情報交換　」

 日時　令和5年８月２日　　 　 １３：１５～１４：４５

　　 場所　光明支援学校 小学部校舎 ２階 ５－３教室

　　進行　七ヶ浜町立　松ヶ浜小学校 齋藤　美穂先生

記録　 光明支援学校（情報教育部長）　 板橋 努

＜ 分科会記録 ＞

1. 自己紹介

2.

①生徒に有効なICT機器(ソフトやアプリ)について」

○小牛田 五十褄T

・生徒1人1台端末　電子黒板　スマートフォンの所持率は高い

・生徒たちの方が評しいことも

・学力は高い。Jambond (Google Workspace)は人により認識の差がある。

・Airdropはできる。

・討論ができるはずなのでJambord は有効ではないか

・1クラス8~9名。 タイピングはできる。

②「ICTを活用した授業作り」

〇七ヶ浜町立松ヶ浜小 齋藤美穂T

(指導案参照)

・文字や文を聞く、話す、書く、読む学習

・目だけでなく耳でも学習を確認できるので

・有効だった。

・特別支援学級なので学年や性別がばらばらなのでどこにベンチマークをもっていけばいいのか悩んでいる。

・教科書は参考程度で使用。

・iPad を使用。 1.2年生は共有(2人で1台)3年生 以上は1人1台で活用できている。

・ICT機器を使用する際のルールづくりは必須。

・タブレット端末で有効な指導とアナログ(紙やペン)の方が有効な指導・支援を精査していく。

→Good note 等のようなアプリで代替できるものもあるかもしれない。

・文字が書けなかったり、タイピングができない児童、生徒でもフリクション入力はできる子も

いる。

③「クロム(ロイロノートなど)を活用した実践例について」

○仙台市立大野田小学校 戸村隆T 別紙資料参照

・ロイロノートを活用して写真や文子を 蓄積している。

・仙台市ではクロムブックなのでMiyagitouchは、活用できない。

― １ ―

＜ 分科会記録 ＞

④「個々の児童に使える教材プリント開発

○多賀城東小学校 早坂雪男T

別紙参照

・自作教材プリント

・弘済会での研究費で有料アプリやパソコンなどを購入。

⑤「クローム(ロイロノートなど)を活用した 実践例について」

○仙台市立錦ヶ丘小加藤恵理子

・写真やコメントを入れながら記録をとっていく。

・音声入力もできることは有効

・夏休みなどの長期休業の際は、 タブレット端末を自宅へ持ち帰り、 リコーダーなどの練習を音声入力した ものを教師へ提出。

⑥「タブレットの活用の仕方について」 涌谷町立岳白山小木村優菜T·

・なかなかタブレット端末を活用につなげるに至っていない。

・ロイロノートやコグトレなどを入れていきたい。

・タブレット端末で写真をとるだけでも児童・生徒は興味・関味が高まる。

・アプリ「カフート」「羊のソフト」は言葉や数の学習としてオススメ

・仙台市「ナビ板」のアプリなぞりはとても難しい。「スマデコ」の方が良かった。

・

○事後アンケートについて

― ２ ―

話題に挙げたい内容

・「生徒に有効なＩＣＴ機器（ソフトやアプリ）について」

宮城県立支援学校 小牛田高等学園　五十棲 康紘先生

・「ICTを活用した授業作り」

七ヶ浜町立松ヶ浜小学校　齋藤　美穂先生

　多賀城市立多賀城東小学校　早坂　雪男先生

宮城県立小松島支援学校　熊谷　寛登先生

 仙台市立大野田小学校　戸村　隆先生

・「クローム（ロイロノートなど）を活用した実践例について」

仙台市立錦ヶ丘小学校　加藤　恵理子先生

・「タブレットの活用の仕方について」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　涌谷町立箟岳白山小学校　木村　優菜先生